瀬戸 内トラストニュース

第55号 2013年8月

環瀬戸内海会議事務局 700-0973 岡山市下中野 318-114 松本方 LL&fax 086-243-2927

第23回総会姫路市で開催される

瀬戸内法40年その功罪



13.5.25 第24回総会記念講演会



13.5.25 恒例の懇親会 総会開催のご協力頂いた播磨灘を守る会の皆様に感謝申し上げます



13.5.26 第24回総会 熱心な議論を展開



13.5.26 家島諸島・新舞子海岸を海上視察

月 次

環瀬戸内海会議第24回総会報告	環瀬戸内海会議幹事	田嶋義介	2
環瀬戸内海会議第23期決算並びに第24期予算			5
環瀬戸内海会議第24回総会記念講演を聞いて	環瀬戸内海会議事務局長	松本宣崇	6
山口県 上関原発埋立て免許、山口県知事は直ちに取り消せ			7
愛媛県 伊方原発環境安全管理委員会あて申し入れ	原発さよなら四国ネッ	ットワーク	8
香川県 新内海ダム 湛水試験終えずに竣工式?!		松本宣崇	10
岡山県 御津産廃処分場建設反対運動の現状	環瀬戸内海会議事務局長	松本宣崇	12
兵庫県 山を削り処理施設建設に暴走 北但に抗議の声を!	!	松本宣崇	13
香川県 今年も豊島で海岸生物調査		松本宣崇	14
家島諸島海上視察と沖縄・辺野古埋立て	環瀬戸内海会議事務局長	松本宣崇	15
「瀬戸内海は今」好評販売中!! ご購入者の声 各地ベント	のご案内		16

瀬戸内法改正に取り組もう

瀬戸内法制定 40 周年を迎えて

環瀬戸内海会議幹事 田嶋義介

環瀬戸内海会議第24回総会は2013年5月25,26 日に兵庫県姫路市のホテルプラザ姫路で約60人 が参加して開かれた。25日の五百井正樹氏の講演 を受けて、26日には総会で、来年が日本で初めて 瀬戸内海が国立公園に指定されて80周年を迎え るのと合わせて、瀬戸内海議員連盟結成を軸に瀬 戸内法改正運動に取り組むことで一致した。終了 後、家島諸島などを船で海上から視察した。

総会冒頭、挨拶に立った阿部代表は「昨夜はこ こ姫路市夢前町の産業廃棄物処分場反対運動の人 たちと会い、一緒にやっていこうということにな った。こういう運動が各地に生まれることが環瀬 戸内海会議の力になっていく」と述べた。

瀬戸内法改正に取り組もう

2013 年度事業計画では、まず瀬戸内法改正運動に 2003 年から取り組んでいるが、今の力量では形にすることができていないのが実態。まず瀬戸内海議員連盟の結成が運動の軸だ。一昨年は湯浅一郎氏に参加を願い、院内集会をした。昨年は青木副代表らが上京して、ロビー活動をしたが、昨年末の総選挙で、瀬戸内海議員連盟結成を働きかけてくれると約束していた議員が引退、今回も青木副代表が兵庫選出の松本剛明、山口壮、大阪選出の辻元清美の各代議士に電話や直接訪問で参加を要請、出席できなければせめてメッセージを寄せてほしいと要請したが、メッセージもこなかった。

参院選立候補予定者にまず、アンケート

「こうした運動はしつこく何度でもやる以外ない」という意見が出て、運動を再構築することになり、国会議員へのアンケートを7月の参院選前か後かで議論が分かれた。しかし、7月の参院選となると時間的制約もあり、「一発勝負にこだわることはない。地道にやったらどうか」という意見がでた。中には、米国のロビー活動では、議員の説得材料として、議員地元の友人7人から手紙を集めてもっていき、200人の賛同議員を集めることに成功した話も披露された。

結果、7月の参院選立候補予定者へのアンケートをまず行い、参院選後に衆院議員へのアンケートを進め、議員連盟結成を呼びかけることになった。参院選立候補予定者の連絡先など各県で分担して調べ、事務局に連絡、松本事務局長が役員メールでアンケート案を作成、発送、集計をし、結果を公表することにした。また、瀬戸内法改正案の柱に、埋め立て禁止、産業廃棄物持ち込み禁止、磯浜復元に加えて、「3・11」を踏まえ、脱原発を盛り込むことが全会一致で決めた。



瀬戸内海汚染調査団の貴重な資料を示す飯塚氏

瀬戸内法制定 40 年にちなんで、西宮市から眼科医、飯塚修三氏が駆けつけられ、法制定のきっかけの一つとなった、1972 年の「瀬戸内海汚染総合調査報告」の最初の活動報告である京大実行委、阪大実行委など作成のワラ半紙にガリ版刷りの「瀬戸内海汚染総合大調査 海を取り戻す行動その1 予備調査報告書」(71 年春)という貴重な資料や瀬戸内海汚染総合調査への参加呼びかけ文を披露された。飯塚氏は当時大阪大の1年生だった。「これらは私にとっては宝物」と話された。

海岸生物調査の継続を!

海岸生物調査については、小西氏が存命中は毎年50ケ所以上で行われてきたが、マンパワーも不足し助成金もないが、地域の中でリーダーシップを発揮し継続を呼びかけることにした。会としては、広島県呉市の6ケ所で故・藤岡義隆氏が1960年からやってきた調査は、重点項目として2ケ所で継続していくことにした。

「瀬戸内海は今」販売に協力を

ブックレット『瀬戸内海は今』は13年2月に発刊した。印刷部数は3000部。大半を執筆した田嶋義介幹事と監修し頂いた湯浅一郎顧問に感謝が表明された。瀬戸内海沿岸の各紙の報道で、広島市立図書館から13冊など図書館からの注文が多い。いまのところ、山口、香川、大阪、和歌山と九州の反応が薄い。13年5月22日現在、販売促進配布、執筆料の現物支給などで出荷・販売部数は1447冊。「滑り出しが肝心なので、販売に協力してほしい」と要請した。

上関、伊方原発反対!共に闘おう

上関原発は「3・11」後、工事は中断しているが、埋め立て工事の許可が12年10月6日に期限切れを迎え、中国電力は許可延長申請を10月5日に山口県に出した。山本山口県知事は7月の知事選で、「延長申請があっても認めない方針」を表明した二井前知事の方針を引き継ぐことを表明し、「今の時点で許可できない。不許可の処分をする」と記者団に言明した。しかし、こうした許認可審査の標準処理期間は県条例に基づく内規で32日以内に処分を決めることになっているにもかかわらず、審査過程で県は中電に質問を繰り返して処分を引き延ばし、12年の総選挙で原発推進の安倍自民党政権が誕生すると、13年3月に処分の1年先送りを表明した。これに対し、反対派は「公約違反」、「知事はうそつき」、などの批判が続いている。

総会後の6月11日に「上関原発を建てさせない 祝島島民の会」などが住民監査請求を申し立てた。

また、原発予定地周辺の8漁協のうち、旧祝島漁協だけが10.8億円の漁業補償金の受け取りを拒否していたが、山口県漁協の指導もあって、13年2月末の会合で受け取りを可決した。だが、実際の受け取りには正組合員の3分の2の賛成が必要。3月には53人の組合員のうち39人が受け取り拒否を県漁協に申し入れ、そのメドは立っていない。「上関原発を建てさせない祝島島民の会」などは「これで態度を変えることはない」と建設反対を続けている。

伊方原発では、政府の原子力規制委員会の新規制基準が7月にできれば、再稼働第1号は伊方原発ではないか、といわれている。内海なので想定津波の高さが低いこと、耐震建屋=免震重要棟がすでにあること、伊方原発のような加圧水型原発

へのフィルター付きベントの設置が5年間の先送りを委員会が認めていることなどが論拠。しかし、南海トラフ地震と津波で徳島に集中立地する火力発電所の全滅、高圧送電線の倒壊などで四国全域の広域停電が長期化すれば、伊方原発がメルトダウンする恐れがある。ゲート前の「伊方集会」が87年から続き、最近では広島で伊方原発の危険を訴えるデモが行われるなど広がりをみせている。

上関原発建設、伊方原発再稼働阻止を共に闘う ことをあらためて確認した。

豊島の未来に

香川県豊島の産業廃棄物処理問題は、海面近くの産業廃棄物の実態が不明だ。岩盤の切れ目にどう入っているのか、など浸出する水が環境適応するのかどうか。平成40年まで、あと15年近くかかるであろうといわれている。人口が減少し、社会的な注目も薄れており、「豊島を訪問して思いを共有していきたい」と提起した。

新内海ダムで県が「竣工式」を強行に抗議!

香川県小豆島の巨大新内海ダム建設問題では、 県が建設の論拠とした 1976 (昭和 51) 年では、ダム予定地上流には氾濫はほとんどなく人命も失われていないことは明らかであり、過大な計画だ。 県は「ダム完成」を既成事実化するために、試験 湛水も終わっていないのに、4月 24 日に「竣工式」 を強行した。

今年3月公表の国立社会保障・人口問題研究所の「将来推計人口」によれば、県がダムを供用開始とする2016年から3~4年で小豆島の人口は今より大きく下回り、給水制限も必要なく、「水余り」になることは必至である。毎月第1月曜日の県庁前の街頭宣伝は7年余り続いており、内海ダム事業認定取消請求訴訟も続いている。地元反対住民は高齢化しており、支援を呼び掛けた。

産廃処分場・焼却施設反対運動を共に闘おう

兵庫県豊岡市坊岡や愛媛県宇和島市祝森の焼却施設計画では、立木トラストですでに支援を進めてきており、引き続きともに闘っていく。

岡山市では、旧御津町で10年余り前から産業廃棄物処分場計画が浮上し、町議会で反対決議をした。しかし、岡山市との合併で決議は無効となり、市は事業を認可した。住民は岡山市を相手に工事

差止請求訴訟などを起こしたが、岡山地裁は昨年 暮れ請求を却下、住民は控訴して闘いを続けてい ると報告した。

辺野古埋め立て瀬戸内の岩ずり購入計画

新たな問題として、沖縄・普天間基地の辺野古移転計画で、沖縄防衛局が出した辺野古埋め立て申請書に「岩ズリ約 1640 万㎡を沖縄、九州、瀬戸内海周辺から購入を想定」と書かれている。海砂採取は大分県の一部を除いて禁止されており、復活することはありえないだろうが、復活させてはならない。とすれば、瀬戸内海各地の島嶼部などの岩ズリが狙われる恐れがある。



関空建設に砕石を提供した家島諸島の西島

アセスメントを回避する条件として、「購入」を 前提としている。米国の軍事的要請に応えるため に、瀬戸内海の環境の棄損が危惧される埋め立て 用大量土砂調達を許してはならない。

広島県竹原市

2013 地域沙沙尔沙安岛

瀬戸内海の環境保全を考える

~火電から残った龍島の海の生物観察~

と き 2013年8月18日(日) 10:00~ 16:00

ところ 竹原市芸南地区 (竹原シーサイドホテル&海岸) (竹原市忠海長浜3丁目18-26 TEL 0846-26-2236)

日 程

10:00~ 講演1 講師: 湯浅 一郎 さん

「福島第1原発事故による海洋汚染と

瀬戸内海への原発(伊方・上関)の影響|

講演2 講師:山内 静代 さん

「大久野島の毒ガス兵器による海の汚染と環境」

13:00~ フィールドワーク瀬戸内海の生物観察~火電建設から残った龍島の浜を調べる~ 案内:湯浅一郎さん・岡田和樹さん

15:50~ 閉会行事 16:00~ 解散

主催・お問合せ:広島平和教育研究所(広島市東区光町2-8-32)

TEL 082-264-1751 E-mail hipe@iris.ocn.ne.jp

最後に、環瀬戸内海会議のHPが更新されておらず、今回の総会の案内も見つけられなかったという苦情が出た。HPを更新していくことを真剣に考えてほしい、という要望も強く出され、外部委託も含めて検討することになった。

来年の総会は、瀬戸内海国立公園で国立公園を 提唱した香川県出身の小西和氏で、最初に指定さ れたのが寒霞渓と鷲羽山などであることから、小 豆島での開催が浮上、寒霞渓の自然を守る連合会 の検討に委ねることとした。

会計報告では、昨年度の決算は、会員の死去などで個人の年会費が予算より13.2万円減った。寄付・カンパも予算より約20万円減。前期繰越133,752円を入れて収入は1,740,925円。支出は機関紙が年2回にとどまったことで約20万円減り、支出は1,513,657円。約22万円の黒字だった。13年度は、収入は約22万円の前期繰越金を入れて、2,093,092円。支出は、数年ぶりに事務所費を12万円、借入金返済20万円を盛り込み、1,880,000円となり、承認された。(5頁に23期決算並びに24期予算を掲載)

2013年 吳市周辺 海岸生物調査

集合日時・場所 8月19日(月) 11:30 JR呉線広駅

故藤岡義隆氏が半世紀に 亘り続けてきた生物種数調 査を継承し、長浜・戸浜の二 カ所で生物調査を行います。 ぜひ、ご参加下さい 参加ご希望の方、環瀬戸事務 局にご連絡をお願いします。

環瀬戸内海会議・第23期(2012.4.1~2013.3.31)予算及び決算 並びに次期第24期(2013.4.1~2014.3.31)予算案

	勘定科目	補助科目	第23期		第24期予算
		ם דו נשמוו	予算	決算	第24期丁昇 ————————————————————————————————————
	前期繰越		133,752	133,752	223,092
	年会費		1,480,000	1,260,000	1,480,000
		団体	280,000	270,000	280,000
		個人	800,000	668,000	800,000
収		総会	400,000	322,000	400,000
ЧΧ	事業収入		35,000	44,680	135,000
		集会シンポ等	30,000	14,480	15,000
		トラスト繰入益	0	0	0
		出版事業収益繰入 物品販売	5,000	30,200	100,000
入	まは、カンパ	120 00 RX 5 C			20,000
	寄付・カンパ		450,000	250,040	250,000
	雑収入		3,000	52,453	5,000
		雑収入	2,800	52,150	4,500
		受取利息	200	303	500
	助成金			0	0
	合	計	2,101,752	1,740,925	2,093,092
	仕入高		0	27,000	15,000
	会議費		400,000	617,965	570,000
		役員会	40,000	139,669	120,000
		総会	360,000	478,296	450,000
	活動費	11101 200	350,000	189,930	200,000
		旅費交通費	350,000	189,930	200,000
	共闘費	10113 27 2723 2	47,000	19,000	20,000
		加盟費	35,000	14,000	15,000
		寄付金	12,000	5,000	5,000
	事務局費		360,000	349,784	350,000
支		通信費	115,000	129,362	130,000
		事務消耗品費	80,000	72,362	75,000
		資料費	10,000	28,110	20,000
		印刷費	160,000	117,940	120,000
出	雑 支出	支払手数料	5,000	2,010	5,000 F 000
ш	*世文山		30,000	4,176	5,000
		機材購入費 雑支出	30,000	4,176	5,000
	機関紙費	TATEXES	500,000	309,978	405,000
		封筒·振替用紙印刷	20,000	0	45,000
		印刷費	250,000	190,530	240,000
		発送費	230,000	119,448	120,000
	事務所費		0	0	120,000
	借入金返済		200,000	0	200,000
	助成金支出		0	0	0
	合	計	1,887,000	1,513,657	1,880,000

監査報告

環瀬戸内海会議第23期(2012年度/五百 と帰る。 帳票書類等正確かつ適正に処理されていることを認めます。 監査 監査 環瀬戸内海会議第23期(2012年度)会計を厳正に監査したところ、





環瀬戸第24回総会記念講演を聞いて

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇

今年は瀬戸内法成立満 40 年、法成立直前、関西地区の大学の若き研究者・学生による瀬戸内海汚染総合調査団が、瀬戸内海を海陸から汚染実態を調査した。その事務局長として活躍された五百井正樹さん(当時・大阪市立大工学部勤務)を講師に招き、汚染調査団や、その後関わった赤潮訴訟、淀川水質調査などの活動を通じて瀬戸内の 40年を語ってもらった。



瀬戸内海総合汚染調査

「海はどないなっとんじゃ」各地の聞き取りで相次ぐ質問に右往左往した。何も知らない、情けなさからの出発。汚染調査はそのことを再認識させられるものだった。せめて時代の記録として残そうと、「瀬戸内海」(汚染総合調査報告)を出版したと語った。

赤潮訴訟

瀬戸内法制定のきっかけとなった赤潮によるハマチの大量死、壊滅的打撃を受けた漁業者が起こしたのが赤潮訴訟。支援活動として自前のデータが必要になろうと、播磨灘調査を行った。しかし、環境・公害訴訟の難しさに直面する。今もそうだが、因果関係と被告の過失の立証責任を原告側に求める。当時は大雨による塩分濃度定価に伴う「赤潮天災説」が公式見解であったという。不勉強にも初めて知った。五百井さんは、「この訴訟は環境汚染の責任を問うほとんど唯一の裁判であった、因果関係すなわち赤潮は構造的なものと立証したと信じているが、共同不法行為の議論に入れず、和解で決着となった」と、話した。

現行法体系では「勝利」は困難であり、運動面では司令塔を欠き、運動を裁判所の外に拡大できず、また、視点を海から外へ広げられなかったこと、

総じて勝つための戦略がなかったと総括された。

琵琶湖淀川水系調査

「琵琶湖・淀川調査では、川の汚れを痛感した。 生活様式が変化していくが生活インフラが追い付かず、しかも造ったものである以上管理する責任がある。メンテナンスと予防が原則である。変化したのは瀬戸内海だけではない、すべての変化は連動し根こそぎ変化した。川も里も山も、街も人も」と淀川水系調査の実感と語った。

70~80年代、経済成長こそが正義と、無限膨張の夢を追い続けてきたが、上限があることは自明ではないか。普段の手入れがあってこそ成り立つ「里山」のように、人間が環境を造り環境が人間を造る。川砂は海の基本、川砂を取り戻し、渚を取り返そうと、五百井さんは熱く語った。

そして環境の使い捨てが不能と知ろう。豊かな海を取り戻すには、海からの視点で陸を救い出す、発想の転換が必要だ。眼力と想像力を鍛え直し、環境からの悲鳴を聞き取り、ヒトの悲鳴を聞き分けようと呼びかけ、講演を締めくくった。



質疑での冒頭、伊方原発再稼働と小豆島新内海 ダムの反対運動に続いて、姫路市夢前町に浮上し た埋立て量500万㎡という日本最大級の安定型産 廃処分場計画に反対する「子どもの未来を守る会」 が初めて参加したことを報告しておきたい。

現時点では建設許可申請は出ていないが、許認 可権を持つ姫路市と水面下で事前相談が進行中と 報告し、地元住民の反対意志は固く、反対署名へ の協力を呼びかけられた。さらに全国からの産廃 処分場反対の声を姫路市に届けよう!

反対署名にご協力をお願いします。

連絡先:子どもの未来を守る会

HP アドレス: http://kodomo-no-mirai.com/
Eメール: kouhou@kodomo-no-mirai.com

山口県上関

上関原発埋立て免許、山口県知事は直ちに取り消せ!



2011年3月11日の東日本 大震災を目の当たりにし、さら に福島原発事故で、同年3月 15日以降上関原発建設工事 は中止されたままだ。

中国電力が12年 10 月、上 関原発建設のための海面埋 立て免許の延長を申請した。 民主党政権への世論の失望、 年内総選挙と自民党の政権 復活、しかも首相には山口県 選出の安倍晋三氏就任を見 越した期待のもたらしたもの。

山口県知事は、今年2月末の埋立免許延長申請の審査期限が過ぎても判断を先延ばしにしたまま。あげくに 県知事は今年3月、判断の一年程度先送りを表明した。原発をめぐる民意と政権はねじれているのは明らか。知 事が、県民の意を汲み誠実に業務を行っている態度とは思えない。埋立免許を直ちに取り消せ!

祝島日誌 著者 山戸 貞夫

原発予定地を目前に見る島に生きて



A-5版 全 447 頁 頒価:1500円 350円 送料:

13.6.19 中国電力の上関原発建設計画と向き合うように上関町・祝島で暮らす一島民

の12年余にわたる日配が本になった。書いたのは、上関原発の反対運動を引っ 得ってきた山戸貞夫さん(63)。闘いの記録にとどまらず、島の暮らしぶりまで わかる内容になっている。

Ø

タイトルは「祝島日誌 原発予定地 を目前にみる島に生きて」。1999年7 月に始まり、胃が人の診療のためいっ たん島を離れた2011年10月までの12年

3カ月分を抜粋して収めた。 抗議行動や裁判闘争のほか、島の小 学校の入学式、スナメリの群れが被止 場近くまで訪れた様子など、四季折々 の出来事も盛り込まれている。

の出来事も確り込まれている。 山戸さんは「上関原巻を建てさせない税齢島民の会」の前代表。島根大学 を卒業後、松江市の企業に脱職した が、故郷・上関門での原発反対運動に 参加するため85年にリターン。旧税島 漁舗の組合長や町譲き移めた。 下関市の市民団体「原発いらん!下

関の会」が毎月発行していた会報に日 々の出来事を「祝島通信」として連載 していた。ところが、スタッフの高齢 化などで会報は今年4月の213号で廃 刊。これを機に、連載を圧縮して本に まとめる話が持ち上がった。 山戸さんは「祝島の人たちは、反対

n

7

田川戸かんは「砂碗の人だらは、反対 連動をするために鳥にいるのではな く、鳥の暮らしを守りたいから反対連 動をしている。普通の人が、普通に暮 らしていることを知ってもらいたい」。 下臈の会の沢村和世代表は「連載をそ のままにしておくのはもったいないと 思った。これからも祝鳥の人たちに寄 り添って活動していきたい」と話す。 A 5 判445 デ。頒価1500円で、2千

知 つ 部発行した。82年6月29日に計画が認

面化したのにちなんで、発行日は6月 29日としている。購入希望者は下隣の 会(電話兼ファクス083・223・9061) (資松慎二郎、小川裕介

上関原発反対の闘いと言えば祝島、祝島と言えば山戸貞夫さんを、誰もが想起するだろう。

山戸さんが一昨年 10 月、胃がんの手術で島を離れることになった。 それまでの実に 12 年 3 カ月 、「原発いら ん!下関の会」の会報に寄せられた山戸さんの「日記」が本になりました。

「原発いらん!下関の会」は、毎月定期発行の会報「むらさきつゆくさ」を 18 年間続けてきました。その中の 13年間(1999~2011)、祝島の山戸貞夫氏が会報に掲載するため現地の様子を送り続けて下さいました。

上関原発計画浮上以来 30 年に亘る反対運動は全国に知られるところとなりました。本書はその闘いの中心 となった祝島の人々の生活と生産、そして闘いの記録です。この国の反原発闘争史の一時期、一地域からの 発信ながら必ずや全国の皆さまの共感を頂けると思います。(「原発いらん!下関の会」の購入申込書より)

環瀬戸事務局でも取り扱っています。ぜひお買い求めをお薦めします。

伊方原発環境安全管理委員

原発さよなら四国ネットワーク

伊方原発の再稼働を認めないことへのお願い

様

四国電力が7月8日、原子力規制委員会に伊方原発再稼働の申請をしたのを受け、貴委員会で審議されると 聞きました。そこで是非、私ども市民の意見や思いをお伝えしたく手紙と資料を送付させていただきました。

福島原発事故は2年4ヶ月たった今、収束はおろか、事故原因の特定さえできていません。当初「津波による 電源喪失」を初発の原因としていた東京電力も、今では「地震の揺れによる配管の破壊」を否定できなくなって います。また、福島第1原発の観測用井戸から高濃度の放射性物質が検出され、汚染は私たちの暮らす自然界 で広範囲に広がり続けていることが実証されています。

このような中、政府は着々と福島県民に対し避難解除をし、賠償も次々と打ちきっています。住民の声が一切間かれないまま、兵糧攻めのようにして「帰還」が進められているのが現実です。取り返しのつかない「ふるさとの喪失」、電力会社の不誠実なデータ隠し、国の「棄民政策」が続く現状で、四国電力の伊方原発再稼働申請を、私たちは許すことはできません。フクシマの人々の苦悩を無かったかのようにするこの振る舞いに、恐怖すら感じています。ひとたび事故が起きれば、私たちの暮らす「エヒメ」も「フクシマ」になるからです。

以下に私たちの危惧する伊方原発の問題点を挙げさせていただきました。是非、貴委員会でご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 「活動期にある中央構造線系活断層 — 伊方原発沖6km」

高知大学の岡村眞教授(内閣府中央防災会議の地震・津波専門委員、南海トラフの巨大地震モデル検討有識者会議委員)は、この活断層の長さはトータルで650kmなのに、四国電力は360kmで地震動の想定をしている、右横ずれ断層で伊方原発は震源域の真上に位置している、動けばM8以上と予測、四国電力の想定は甘すぎる、大変危険と、警告しました。

2. 「周期的に起きる南海トラフ地震」

岡村氏は、①過去にM8.6とM8.4の南海トラフ地震の記録があり、前回(1946年)はM8.0と小さく、今度は過去最大のM9を予想している、②12年の中央防災会議で震源域が広がり伊方原発も入っている、③伊方原発は最大地震動570ガルだが、最近は計測機器の精度向上により1000ガル以上の発生が明らかになってきた、08年6月14日の岩手・宮城内陸地震の最大加速度は4022ガルで、世界で観測された最大値とギネスに認定された、④大きな地震動で制御棒が入らない可能性がある、と述べられました。

3. 「津波への警告」

都司嘉宣(つじよしのぶ)氏(元東京大学地震研究所)は昨年7月29日、1596年の慶長豊予地

震は中央構造線と連動し伊方付近でも震度6強~7程度の揺れがあった可能性がある、佐賀関の神社が流出したことなどから10.6mの津波が推定される、伊方は中央構造線の断層により近く、10~15mの津波が襲った可能性がある、南海トラフによる地震は「本震」よりも「余震」で強い揺れが記録されており、中央構造線活断層帯とつながった恐れがあると指摘されました。

以上の最新の知見から、マスコミの「伊方原発には地震・津波のリスクが少なく再稼働一番手」 との指摘は、全くの認識不足であるとしか言えないのです。

4. 「中村愛媛県知事の答弁」

昨年6月の県議会で知事は、「動かしても動かさなくても原発はあるのだから危険性は変わらない」と、答弁しましたが、稼働中の原発の事故では、 燃料棒の核分裂生成物の崩壊熱が多いため、冷却し続けねばならず、停止中とは比較にならない程のエネルギーと作業を要すること、また、炉心溶融などの過酷事故に短時間で移行することは科学的事実です。

5. 「プルサーマル運転」

再稼働申請の3号機は、プルサーマル運転炉であり、MOX燃料には猛毒のプルトニウムが含まれ、事故が起きた場合、ウラン燃料の何倍ものプ

ルトニウムを放出すること、また使用済みMOX 燃料は処理方法も保管場所も決まっておらず、伊 方原発サイトが超危険な「核のゴミ捨て場」とな ります。ウランのみならず溜まり続けるプルトニ ウムが過酷事故時に放出され、収束不可能な放射 能被害をさらに拡大することは、福島原発事故が はっきりと証明しています。

6. 「瀬戸内海に面している」

伊方原発は、瀬戸内海という世界有数の生物多様性をもつ閉鎖系水域に面して建てられており、 過酷事故が起きれば、瞬時に瀬戸内海が汚染され、 棲息する多くの生物が被曝すること、また閉鎖性 水域であるため、汚染物質が長く溜まり続けることになり、西日本の食糧庫は壊滅的被害を被ることになります。

7. 「充分な原子力防災計画が立てられていない」

昨年9月、愛媛県の防災訓練では、佐田岬半島西側住民の救助のために用意したヘリコプターと船を用意したが、強風と雨のためにヘリコプターは飛ばず、船も着岸できず、結局「救助」できませんでした。原発の西側20km圏内に暮らす住民約5000人の防災・救出計画は、実効性がないと言わざるを得ません。

また、愛媛県は、伊方原発から半径30km以内の地域を原子力災害対策重点地域として計画を立てていますが、山口県を含め8市町の13万5000人の避難方法は明記されていません。そもそも被

害想定が甘く、30㎞圏外の県民の防災対策は完成していないという実態です。

7月8日の私たち市民グループと原子力規制委員会との交渉で明らかになったのは、防災と「原子力規制」はリンクしておらず、防災はあくまで地方自治体の責任であり国はそれを支援する立場だ、ということでした。

以上、問題点を一部述べさせていただきました。 これまで私たちが行ってきた要請や申し入れの際、四国電力社員は、私たちの質問に対して「(原発が)絶対に安全であるとは言えない」と答えています。フクシマが伊方で起きないと、何故言えるのでしょうか。

フクシマが私達に教えてくれたのは、自然は「専門分野の想定」を越えるということです。フクシマの災厄を経験した私たちは、専門分野を越え、「いのち」の上に立って知恵を出し合うべきです。

私たちは、「再稼働しない」ことこそ今できる最高の、環境安全管理だと考え、委員の皆様の公正と信義を信頼して「再稼働を認めないこと」をお願いする次第です。

伊方原発環境安全管理委員会各委員あてに提出された 「伊方原発の再稼働を認めないことへのお願い」を、主旨 をゆがめず一部要約して転載しました。 環瀬戸事務局

8月20日 伊方運転差し止め第三次提訴

2013.6.21 付朝日新聞愛媛版 →

今、原発が立地する各地で、多くの市民が訴訟原告に参加して各原発の運転差し止めを求める訴訟が、闘われている。

振りかえれば、伊方原発建設差止訴訟が提訴されたのは、 1973年8月27日。実に40年前、伊方住民が時の首相を被告と して「原子炉設置許可処分取り消し」を求めた訴えであった。

訴訟は最高裁にまで闘い続けられた。そして最高裁判決は 1994年10月29日、不当にも「原告の請求棄却」だった。

京大原子炉実験所をはじめとした研究者が住民側証人として、原発の安全性をめぐる一大科学論争を展開した。しかし判決は国の自由裁量を広範に認め、報道機関すら厳しく批判するものだった。不当判決を再び繰り返してはならない。フクシマを踏まえ、最新の科学的知見に基づく安全性の判断を司法に求めたい。そのために、さらに多くの市民が原告団に加わるよう呼びかけたい。

早坂暁さん・片山恭一さん 伊方訴訟3次提訴の原告に

伊方原発(伊方町)の周辺住民らが運転差し止めを四国電力に求めた訴訟で、原告団を支援する市民団体「伊方原発をとめる会」は20日、8月20日に3次提訴すると発表した。松山市出身の早坂暁さん(83)と、宇和島市出身で「世界の中心で、愛をさけぶ」を書いた片山恭一さん(54)の作家2人が原告に加わるという。

早坂さんは胎内被爆者がヒロインのテレビドラマ「夢千代日記」の脚本などを執筆。同会によると、呼びかけに対し「故郷愛媛が汚染されるのはたまらない」と応じたという。 片山さんは福岡市在住で、九州電力玄海原発(佐賀県)の操業停止を求める訴訟の原告に名を連ねている。

また、伊方原発をめぐる訴訟で初めて伊方 町の男女各1人が原告に加わることも明らか にした。同会の草薙順一事務局長は「原発の 町で声を上げにくかったと思うが、福島第一 原発事故で立ち上がってくれた」と話した。 香川県小豆島

新内海ダム*:温水試験終えずに竣工式?!*

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇



13.4.24 18:22~ KSB 瀬戸内海放送放映画像 試験湛水を終えずに新内海ダム「竣工式」

昨年12月下旬、新内海ダムは湛水(たんすい) 試験を始めたばかり、今なお、ダム湖底地の掘削 作業が続き、湛水試験も完工していない。湛水試 験途中で、竣工式とは常識ではありえない。

国直轄の奈良県・大滝ダムでは、2003 年本体工事が完成したが、湛水試験中に周辺で地滑りが多発し、完成までにさらに 10 年を要し、完成後に事業費が大幅に膨らむという珍妙な話が起きたのだ。事実、大滝ダムでは当初予算 230 億円の 15.8 倍、3,640 億円にまで膨らんだ。

香川県は、目下高松地裁で係争中の事業認可取 消請求訴訟が、判決時にはダムは完成したという 既成事実を狙っているのか?

あるいは北海道・沙流川の二風谷(にぶだに) ダム訴訟の「事情判決」を狙っているか?二風谷 ダム訴訟判決は、ダム建設に伴う土地収用を違法 と認定したが、すでにダムが完成していたという 「事情」を考慮し、訴えを却下するというものだった。

香川県は、地元住民の異論・疑問の声に耳を貸さず、まさに嘘にウソを上塗りして事業を強行し、訴訟の引き延ばしを図り、ここに「ダム完成」の 既成事実化を図ったとしか言いようがない。

新内海ダムはムダ さらに明らかに 2000年比推計、小豆島の人口では半減

国立社会保障・人口問題研究所(人口研)が3 月27日公表した「地域別将来推計人口」によれば、 2040年の小豆島の人口は約18,000人にまで減少 する。内海ダム再開発計画が明らかになった直近の 2000 年国勢調査では、小豆島の人口は凡そ 3 万 6 千人。わずか 40 年後には実に半減、10 年調査と比較しても約 13,000 人減少するというショックな予測である。

	2000	2010	2015	2040
土庄町	17,711	15,123	13,908	8,594
小豆島町	18,303	16,152	14,924	9,308
小豆郡	36,014	31,275	28,832	17,902

出典:国立社会保障・人口問題研究所が 2013年3月27日公表の「地域別将来推計人口」

水需要予測には将来推計人口が欠かせない。私たちは、当初から「小豆島町の水需要予測は過大」と再三指摘してきた。しかし香川県・小豆島町は過大な予測を立て、巨大なダム計画を仕立ててきた。人口が急激に減る小豆島に、巨大ダムによる水源確保は、不必要であることがもはや明らか。4月25日付朝日新聞香川版は、竣工式に出席した男性が「新しいダムが必要と思ったことはない」と話したと報じている。至極当然の感想だ。

住民に不安を呼ぶ新内海ダム



2013.7.6 地元住民提供「新内海ダム」全景

6月20~22日、小豆島にも久しぶりにまとまった雨が降った。新内海ダム下流側の盛り土には幾本も溝ができた。香川県に言わせれば、コンクリートのダム堤を覆うように盛り土を行い、そこに植林、公園にするのだという。いわゆる「環境修復」事業ということか。

しかし、新ダム湖の中に島が出現?治水のため 満水にはできず、これが常態になるのは必至。そ のうえ、古いダムも顔をのぞかす。 これまで再三指摘してきたように、ダム上流には建設残土が野ざらしで放置されており、その上、ダム下流側には公園と称して盛り土がされる。残土や盛り土は、風化した花崗岩であり、雨水が染み込むと、もろく流出の恐れがあり土石流の原因になりかねないのだ。

新ダム湖内で錦鯉やフナが死んだ。原因は不明、 しかし、香川県は自ら調査しようともしていない。



2013.6.28 地元住民提供 荒神谷に放置されるダム建設残土。雨でできた浸食跡が何本も、雨が続けば土石流を引き起こしかねない

ダムで地域振興? 全国に成功例はありません

水の貯まらない、貯められない巨大ダムの中に、 ダムがある光景を、香川県は『珍百景』と売り出 すつもりなのか?「人工ダムで地域振興は考えな いで。全国で成功例はありません。」 これは 2001 年、当時の建設省北海道開発庁(現・国交省北海 道開発局)職員の言葉だ。



13.5.3 西宮市民撮影提供

新聞では、ダム湖の名称『寒霞渓湖』(13.4.25 産経新聞)と報じられた。いかにも地域振興を意識した名称だが、県は心底から、こんな名称に釣られて観光客が増えるとでも思っているのか?このダム湖を見た観光客はどう思うのだろうか?

浜田知事は、竣工式で「住民の安全・安心に効果を発揮する」と挨拶したそうだ。知事の言う「安全・安心のため」とは、ダムによる洪水防止だ。そのために新内海ダムを満水にできない。寒霞渓から見れば、足元に年がら年中、巨大ダムの中に古いダムが見える珍光景が現れるのだ。

寒霞渓の自然を守る連合会

代表 山西 克明

小豆郡小豆島町神懸通甲 1689-2 Tm・Fax 0879-82-4634 支援カンパ送付先 ゆうちょ銀行

名義 内海ダム再開発事業認定取消訴訟原告団

番号 01690-9-132093

🏶 🏶 新内海ダム反対訴訟報告集会 🖠 🕏

8月31日(土) 13:00~ 草壁公民館(小豆島町)

主催:内海ダム訴訟原告団・弁護団

秋以降にやっと行われる見通しの住民側の証人尋問を前に、まったく公共性・公益性を欠く新内海ダム計画の不当性を再確認し、住民側証人の主張を確認していく場です。 ぜひご参加ください!

高 松 地 裁・傍 聴 席 を満 席 にしよう

内海ダム再開発事業認定取消請求訴訟 弁論期日(法廷はいずれも、高松地裁)

★ 第21回口頭弁論: 9月 9日(月) 11:00 ~

第 22 回□頭弁論: 1 0月21日(月) 10:00 ~

証人尋問: 利水•遠藤保男 地質•志岐常正 景観•川村晃生(予定)

☆ 第23回□頭弁論:12月16日(月)10:00 ~

証人尋問:治水・嶋津暉之 原告・山西克明(予定)

治水・利水・景観・地質・公共政策の専門家・研究者が、住民側証人として証言に立ちます。事業の妥当性・公共性について本格的な議論が始まります。是非、傍聴にお出かけ下さい。傍聴席を満席にしよう!!

御津産廃処分場建設反対運動の現状

THE TOTAL CONTRACT OF THE TOTAL CONTRACT OF

13.7.16 法廷に入る御津産廃阻止同盟の皆さん



13.7.16 閉廷後弁護団の報告を受ける

「平成の大合併」がもたらした悪弊

産廃処分場予定地は、今から 20 年ほど前ゴルフ場が計画され、折からのゴルフ場計画反対運動、贈収賄疑惑のスキャンダル、そしてバブルの崩壊で頓挫していた地域にある。100ha を超す用地が山林として手つかずに残っていたが、所有権はすべてゴルフ場計画業者だった。

10年余り前、産廃処分場計画が浮上した時、直近住民の反対の声を受けて、御津町(当時)は環境保全条例を制定し、町ぐるみで反対してきた。しかし、「平成の大合併」で、御津町は事実上岡山市に「編入」され条例も廃止された。しかも岡山市が「政令指定都市」となり許認可権も県から市に移行、07年には市は事業を許可してしまった。

バブル期に私たちが危惧した「ゴルフ場が産廃場に化ける」事態が起きてしまった。ゴルフ場が当時、農薬を大量に使用する実態、あるいは倒産すれば放置され、流域を崩落の危険に曝し、あるいは産廃処分場に化ける可能性は十分に予見され

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇

ていただけに苦い思いだ。そして「平成の大合併」 による旧郡部町村の周辺化の典型的事例である。

◆ 産廃処分場計画事業取消訴訟控訴審 第一回口頭弁論

9月10日(火)11:00~ 高裁岡山支部

◆ 産廃処分場建設工事差止訴訟控訴審 判決言い渡し

12月18日(火)13:00~ 高裁岡山支部

安全安心な農業を次世代に引き継ぎたい

地元住民の多くが、米やシイタケや果樹の栽培 農家である。豊かで安全・安心な旭川支流の源流 の恩恵を受けて暮らす、のどかな谷あいである。

地元住民は、安全・安心な農業を生業とした暮らしを守り、次世代に引き継ぎたいと、二つの訴訟を闘ってきた。一つは岡山市を相手とした事業認可取消請求、二つは業者を相手とした建設工事差止め請求。両訴訟の口頭弁論では毎回、住民で傍聴席を埋め尽くし、法廷の外にあふれる。

不当にも、二つの訴訟は岡山地裁で却下され、 舞台は現在、広島高裁岡山支部に移された。

建設差止請求控訴審は、わずか二回の口頭弁論で、7月16日結審した。事業認可取消請求控訴審は、9月10日に第一回口頭弁論が始まる予定。

最大の争点は、処分場からの汚染水の漏出である。管理型処分場では、汚染水を遮断し、調整値に貯水の上、汚染を除去しなければならないことになっている。しかし、過去、各地で漏水が発覚しており、地下水汚染をもたらしてきた。シートは破れやすく、耐用年数も定かではない。今また、福島第一原発で遮水シートによる地下貯水池から放射能汚染水が漏水したにもかかわらず、事業者は、遮水シートに問題ないと言い張っている。

漏水には裁判所も関心を示している模様だ。 訴訟の行方を見届けていきたい。 ぜひ、傍聴に駆け付けて下さい。

山を削り焼却施設建設に暴走 北但事務組合に抗議の声を!

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇



竹野川支流・木谷川入口、処理施設への侵入道路建設現場 ノリ面の山肌が剥き出しに



処理施設建設用地造成現場 コンクリート壁は 5~10m、造成で削られる山の斜面は 30m にもなろうか

北但によるゴミ焼却処理施設 事業認定取消請求住民訴訟 第8回口頭弁論 8月21日(水)11:00 神戸地裁

6月8日、播磨灘を守る会のエコツアーに参加 し、広域事務組合「北但」によりゴミ焼却施設建 設が強行されている豊岡市坊岡を訪れた。

見るに忍びない。怒りすら覚える。緑豊かであった竹野川の支流・木谷川右岸の山林は、侵入道路建設でノリ面 10~30m が削られ、施設建設現場ではさらに高く、杉などの植林もされていた山の斜面 30~50m が削り取られている。兵庫県による事業認定取消を求める住民訴訟が神戸地裁で係争中であるというのに!

これも「平成の大合併」の弊害か。起債期限が 迫る合併特例債。事実、事務組合の平成 23 年版 概要には「平成 27 年度を過ぎれば合併特例債が使 えなくなり市民負担が増える」と明記してある。 見方を変えれば、市民への脅し文句ともとれる。 特例債は全額、地方交付税で補てんが国から「約 束」されている。起債期限までに完成させようと いうのか。あるいは、判決時には焼却施設が完成 という「既成事実」で、かつての北海道二風谷ダ ム訴訟のように「事情判決」を狙ってか。いずれ しても不純な動機だ!

処理施設建設は豊岡市上郷地区での計画が地元の反対、立木トラストで白紙撤回され、迷走した。 挙句に、わずか 24 世帯の小集落・坊岡の地域の一部幹部に根回しし、住民の反対意見を圧殺し、推し進められたのは明白な事実。大合併で一市八町から一市二町となった北但事務組合、そのリード役・豊岡市はコウノトリで売り出している町。しかしコウノトリ飼育施設から直線でわずか 10数キロに焼却施設を建設するというのだ。

今年も豊島で海岸生物調査

環瀬戸内海会議事務局長 松本宣崇





13.6.3 18:15~ KSB 瀬戸内海放送のニュース番組「KSB スーパーJ チャンネル」岡山・香川からのニュースで取り上げられ、「特集」として報道されました。下の写真、奥に見えるのが不法投棄現場

アースデイかがわ in 豊島の「海岸生物調査」には、子どもたちの参加もあり、約 20 名が不法投棄現場の北海岸、前浜とその先の岩礁帯での調査を楽しみました。

6月2日の午後は、干潮時がプラス 60 cmとまずまずの大潮で、時刻もまあまあの時間帯。潮が引き始めた前浜ではコアマモのじゅうたんに足を踏み入れ、ホソウミニナ、マメコブシガニ、ヒライソガニなどが確認され、子どもたちは大喜び。残念ながら、アサリは発見できませんでした。

岩礁帯では、岩の割れ目にたくさんのカメノテ、 イボニシ、そして岩場にはマガキ、スガイ、少な いがイワフジツボ、アカニシ貝などみられました。

不法投棄現場から汚染水の漏出を止めるために 海岸との境に鉄製の遮水壁が地中深く打ち込まれ て早や 12 年が経ちます。今では、海岸に下りて も悪臭は感じられません。徐々に生物種も増え生 態系が復活してきていることが実感できます。



13.6.2 13:00 不法投棄現場北海岸 潮が引き始め現れたコアマモ。

(陸からの湧水が豊富なことから、島の人たちは「水が浦」と呼ぶ。かつては航行する船に飲料水を売ることを生業にする人が住んでいたと、今回の生物調査前に初めて聞きました)

どこにでもいる生物が突然いなくなったり、逆にいなくなっていた生物が見られるようになったりと、生物は環境の変化に敏感です。自然界からの人間への「警鐘」だと思います。

次はあなたの住む町の、あなたの足元の海を観察してみて下さい。(写真はいずれも松本撮影)

今年も海岸生物調査にご協力を!

環瀬戸内海会議では、2002年から瀬戸内海一円 の海岸生物調査を呼び掛け、沿岸に暮らす市民の 皆さんの協力で続けています。12年目になる今年 もすでに各地で実施されています。

海の生き物は環境の変化に敏感です。風雨や洪水、高波といった気象条件による環境の変化もさることながら、人為的な環境の変化にも敏感に反応するようです。これまでも、そんな劇的な変化に幾度か出会いました。そのためには地道に継続的に生物の状況を知っておくことが大切であると考えています。

あなたも年に一回、大潮の日、潮間帯での海岸 生物調査をやってみませんか。あなたのお近くの 海で。足元の海で。

家島諸島海上視察と沖縄・辺野古埋立て

環瀬戸内海会議事務局長 松本官崇

北西から見た家島諸島・男鹿島(たんがじま)



西から見た同・西島 (にしじま)



第24回総会後、家島諸島(現在、姫路市家島町) を海上視察した。関空一期などの埋立て工事用土 砂採取のため、島の形が変わるほど土砂が採りま くられた。ひどいのは東側の男鹿島と西島だ。西 島は、現在も操業中という。

安倍政権下、「国土強靭化」の大合唱のもと、バラマキ公共事業が復活しつつある。そして前号トラストニュース 54 号で阿部代表が「瀬戸内の海砂採取も伴う」と報告している米軍基地辺野古移転による埋立て事業計画である。

3月22日沖縄県に提出された、沖縄防衛局の辺野古埋立て免許申請には、「想定している埋立て土砂」2100万㎡のうち、1700万㎡の調達先として沖縄・九州・瀬戸内と明記している。しかも、土砂販売業者から「購入して」調達すれば、アセスメントの必要もないというのだ。

視察の二週間後、6月13日付しんぶん赤旗は、 一面トップで次のように報じた。

見出しは「**防衛省 工期を優先 アセス逃れ 沖縄・ 辺野古埋め立て 県外土砂調達し生態系破壊**」

「防衛省沖縄防衛局が埋め立て土砂による沖縄県名護市辺野古への米軍新基地建設に向けて、環境影響評価(アセスメント)を回避するための"抜け道"を計画、アセス手続きを除外し、日米間で合意した工期どおりに基地建設を進める意図である」と。

防衛省が外部委託の2事業の報告書(O9 年発注、

10年提出)「調達検討業務報告書」では、防衛局自らが土砂を採取する場合はアセスの対象となるものの、購入による調達は対象外。伊藤盛夫経理装備局長は「環境影響評価の法体系に配慮した」と、抜け道を事実上認めた。もう一つの「調達調査業務報告書」で、伊藤局長は石材・埋立材等の調査で九州から四国におよぶ7県19地区の35社に対して調査を実施したことを明らかにしている。(13.6.13 付赤旗より抄録)



小豆島も辺野古埋立ての土砂調達先?



今も操業が続く小豆島町灘山地区の民間業者の採石場現場。山の向こうにはダムがあり、しかも砕石現場にはクラックが走る(写真、軽乗用車の奥に亀裂が窺える)。

赤旗掲載の「調達先として調査した区域」を良く見てほしい。瀬戸内海東部、淡路島の西側・播 磨灘にマークがある。**家島諸島とその西側の小豆 島を指している**のではないか。

小豆島でも北東部・灘山(なだやま)地区で砕 石業者が現在も操業中である。

沖縄のみならず多くの市民が反対している辺野 古埋立て=軍事基地建設=環境破壊に「悪用」さ れようとしていることに、声を大きくして警鐘を 鳴らし 監視の目を強めなければならない。



瀬フックレット 瀬戸内海は今好評発売中です!

A-5版 全42頁 頒布価格:500円 (10冊以上のご注文は1冊450円:送料不要) お申し込みは環瀬戸事務局まで

*** ご購入者からの声 *** ☆13.3.2メール (兵庫県 日本熊森協会)

ご努力に心から敬意を表します。当協会は海のことまで手は回りませんが、大変興味があるのでとりあえず1冊送ってください。

☆13.3.31 メール (埼玉県 女性)

ブックレット「瀬戸内海は今」の完成、おめでとう ございます。 是非手に取ってみたいと思います。

☆13.4.30 メール (広島県 男性)

本を完成されたと知り、中学校の環境教育で使わせて頂こうと思っています。ご努力に感謝します。

☆13.5.9メール (東京都 女性)

目次を見るからに労作であることが伝わってきま す。本当に長い間、瀬戸の環境活動ご苦労様です。

☆13.5.21 メール (兵庫県 男性)

本日の朝日新聞を見ました。私は瀬戸内海汚染調査(1971年)の初期からのメンバーです。今から 40年前、大学1年生の時この計画に参加した成果が今も続いていることをうれしく思います。

☆13.6.6 手紙 (和歌山県 男性)

「瀬戸内海は今」を送って頂きありがとうございました。瀬戸内海の特徴や、汚染と日夜闘いつつ、きれいな環境を残そうとされている様子が良く伝わってきました。南海・東南海・東海の地震が連動すると、特に伊方原発による汚染・被害が瀬戸内は元より、日本の多大な地域への拡大が不可避であることも良くわかりました。

* 各地イベントのご案内 :

◇地域シンポ「瀬戸内海の環境保全を考える」 ~ 火電から残った龍島の海の生物観察 ~

8月18日(日) 10:00~ 16:00

竹原シーサイドホテル (0846-26-2236)

講演とフィールドワーク瀬戸内海の生物観察

講師:湯浅 一郎 さん 山内 静代 さん

主催:広島平和教育研究所(082-264-1751)

◇海の不思議を発見しよう in 新舞子海岸

8月18日(日) 9:00 民宿かとれや 集合 (たつの市御津町新舞子) 参加費:3,000円

主催:播磨灘を守る会(079-322-0224)

◇北但焼却施設事業認定取消請求第8回口頭弁論

8月21日(水) 11:00 神戸地裁

◇愛媛のゴミ問題を考える意見交換会

8月25日(日) 14:00

松山市総合コミュニティセンター第1・2会議室 問合せ:090-7626-7449 (ゴミネット・谷口)

◇新内海ダム反対訴訟報告集会

8月31日(土) 13:00 小豆島町草壁公民館 主催:内海ダム訴訟原告団・弁護団

◆ 内海ダム再開発事業認定取消請求訴訟期日第21回口頭弁論: 9月 9日(月)11:00第22回口頭弁論:10月21日(月)10:00第23回口頭弁論:12月16日(月)10:0022回、23回は証人尋問いずれも高松地裁

◇講演会「原発の正体」

9月22日(日) 13:00~

網干図書館(姫路市網干 山陽電鉄網干駅前)

講師:伴英幸氏(原子力資料情報室代表)

主催:播磨灘を守る会(079-322-0224)

◇伊方原発再稼働許さない!全国集会(仮称)

12月1日(日)、松山市お城山公園で開催準備中

2013 年度会費納入のお願い 年会費(一口) 個人 4,000 円 団体 10,000 円 — 何 ロ で も 可 — 財政が逼迫しています。カンパ熱烈大歓迎!! 環瀬戸内海会議の公式メールアドレ スは廃止され利用できません。 当面、下記のアドレスにご連絡をお 願いいたします。

すでに納入頂いた方にも振込用紙を同封していますが、環瀬戸の活動は、主に年会費とカンパで賄われていることにご理解をお願いします。くわえて、環瀬戸では各地の運動支援や瀬戸内法改正のための 支援カンパのご協力をお願いしています。ご理解のうえ、カンパにご協力をお願いいたします。

瀬戸内トラストニュース 第55号 2013年8月10日発行/発行責任者 松本宣崇 環瀬戸内海会議 共同代表 阿部 悦子(愛媛県) 石井 亨(香川県)

Eメール <u>nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp</u>

会費等振込先 ゆうちょ銀行 口座No. 01600 - 5 - 44750 名義 環瀬戸内海会議 振込みは銀行口座からもできます